

photo : kenneth capello



new york 212 966 7799 los angeles 323 655 6205 tokyo 03 5456 0085 osaka 06 6533 0705 fukuoka 092 732 5002

ISBN4-86119-034-7 C0072 ¥1143E

定価=1200円 (本体1143円+税)

2005年5月20日発行 NO.29 発行人=宮島正洋/編集人=林文浩/株式会社アトリエ 電話160-0008 東京都新宿区三栄町17 四谷柏田ビル3F TEL.03-3353-2298/Art Days/Printed in Japan/印刷=西澤印刷株式会社



WORLD SPIRITの奇跡 — Kenji Williams —

文:ケンジ・ウィリアムズ 訳:黒山ひろ美
Text KENJI WILLIAMS Translation HIROMI KUROYAMA

私たちは幸福と調和の中で生きることができるとは思いません。世界は平和を見つけることができるのでしょうか? この間の時代に生きる私たちが、奇跡でも起きないかぎり、それは不可能に思えます。Worldspiritこそが、その奇跡なのです。

2003年5月23日
Worldspiritの種が生まれる

2001年にニューヨークで初めてアレックスに会いました。彼が制作した「モーメント・ユートピア」という題名の映画、楽曲、そして二人のコラボレーションを検討しては、と書いた手紙を彼に事前に送っていました。アレックスはその映画を見て、彼のスタジオに招いてくれたのです。これが僕たちの最初の出会いでした。彼がサンフランシスコを訪れる度に、案内役をかってたり、ベイ・エリアに滞在している間は世話をしたりして、何年もかけて僕は彼の友情を深めていきました。二人そろって伝説的グルSamurai Adi Daの北カリフォルニアの僧院に招待されたこともあります。

この時点で、僕はアレックスにいつも彼が行っているレクチャーとスライド・ショーをやってもらい、その後自分が演奏するつもりでいました。しかし、イベント4日前にアレックスと電話で話していたとき、ライブ・コラボレーションの案が浮かんできたのです。アレックスに提案したところ、「私も同じことを考えていたよ」との答えが返ってきました。そして、4日間で僕たちは、アレックスが語るべきテーマとストーリーラインを決定し、僕はそのストーリーに合う、シンブルなルーブから成るアンビエントな雰囲気の一時間のサウンドトラックを作りました。アレックスはスライドで見せる映像をまとめ、NYからの飛行機を降りたその場で会場にやってきました。僕たちは4日間で作ったオーディオ・ビジュアル・ショーをリハーサルなしで、観客に披露したのです。

反響は素晴らしい。ショーが終了した後も観客は興奮のあまり、席を立ちとうとほしませんでした。幸運にもその晩、僕は友人のエリック・カラバコスとイベントに招待していただきました。Magnetic Presenceという名の新しいメディア会社を始めたばかりだったエリックは、このイベントのコンセプトをレアルアップさせてDVDとしてリリースするために、投資することに決めたのです。その結果Worldspiritが誕生しました。そして企画の打ち合わせが続く中、僕はWorldspiritの監督を任せられることになったのです。

Worldspiritの誕生
スポンサーがついたにも関わらず、アレックスは再びパフォーマンスを行うことを躊躇していました。予算を得ることで、規模が大きくなり、複雑化した環境でパフォーマンスを行えるかどうか疑問に思っていたからです。

2003年、僕は東京とサンフランシスコを頻りに行き来しながら、新作アルバム「Faces of Epiphany」の仕上げにとりかかっていた。このCDのジャケットには僕はアレックスの作品「Original Face」を使いたいと思っていました。その使用料を私

この6ヶ月間で、僕はサウンドトラックすべてを作曲し、Dimension 7V1アーティストたちによって作られたステージ上の三面スクリーンで上映されるアレックスの動画映像の動きと流れも手がけました。これは三時間のカスラム・メイドの映像で、語られる時と音楽にタイミングが完全に合っなければならないので、困難な作業となりました。さらにこのイベントではセカンド・ステージも設けました。そこではパフォーマンスをいくつかと、東京から呼び寄せたアーティストたちによる「オーラ」と呼ばれるビジュアル・マジック・ショーを披露してもらいました。アレックスの妻アリソンと娘ゼナもパフォーマンスの出演者として参加しました。これらすべてを1時間のショーに収める必要がありました。美しくインスピレーションあふれるものを作り上げるチャンスは一度きりでやり直しはできません。正直に言って、このプロジェクトは僕たち全員にとって最初から最後まで困難な連続でした。アレックスを筆頭に、Sayoko Yuzawa、オーラ・ショーを手がけたShinya Takaka、哀悼という名のパフォーマンスを披露したクリス・シア、プロデューサーのエリック、そしてイベントに関わったすべての人々のプロ根性には脱帽です。

Worldspiritの監督として僕が皆さんに伝えたいことは二つ、その歴史と内容にあります。すべては小さな前衛的アート・イベントから始まりました。他者をサポートするという自分のささやかな意志が達成した事の大きさに僕は畏怖の念を抱いています。このように小さな意志が無数の可能性を含んでいることをWorldspirit完成までの道のりから皆さんに示せば、と思います。

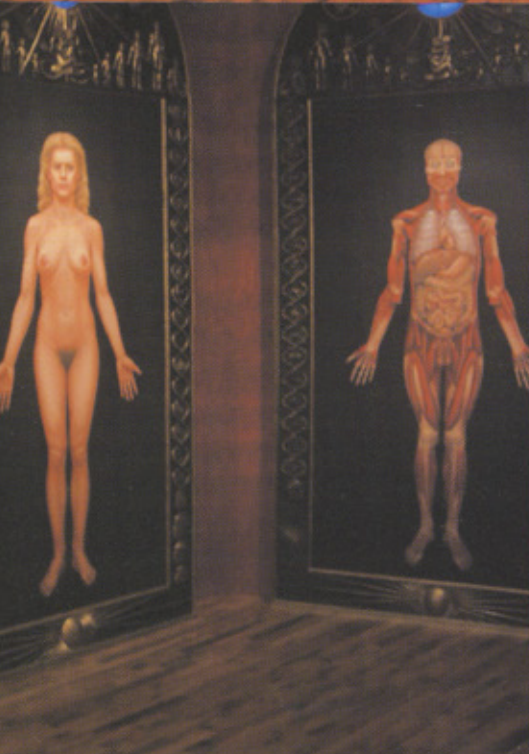
Worldspiritからは、宗教、文化、人種、年齢、そして性別を超え、私たちはみな同じ魂であることを理解してもらいたいと思います。Worldspiritは前衛的かつ総合的な芸術——時、音楽、ビジュアル・アートを通じて心、肉体、魂を進化させるオーディオ・ビジュアル体験です。これにより、癒し、学び、精神の向上といった変革体験を皆さんにご提供できれば、と思います。この進化は地球上の全人類が共有するものです。そして今この時期において、心と魂の進化がいまだかつてなかったほどに必要とされています。進化は、私たちが自我を中心とした存在から脱し、世界を中心としたより高次元な存在となつて、すべての文化や人間を敬うべきだと説いています。魂の観点から言えば、一つの宗教のみが真実であるとみなすのではなく、普遍的な魂の存在を理解する叡智を持ち、すべての宗教を敬うことが進化です。心、肉体、そして魂に語りかけることで人を変える力を持つ良質な芸術や音楽もまた、高次元のコミュニケーションと言えるでしょう。これが進化論者であり魂の研究者であるケン・ウィルバーの唱える「統合」なのです。この「統合」意識まで私たちが自身を引き上げることが、対立し混乱を深めていく世の中でありよりも必要です。私たちは全人類が共有する基盤、核が何であるかを見出し、芸術を通じてそれを祝福すべきなのです。

Worldspiritイベントの開催
2003年12月12日

周囲の予想に反して、プロジェクトは着々と進行しました。僕たちは企画、プロモーション、製作を無事終え、ついに2003年12月12日、1500人の観客を集めて(チケットはソールド・アウトとなりました)、Worldspiritライブを披露しました。種が植えられた6ヶ月後のことでした。

Worldspiritの監督として僕が皆さんに伝えたいことは二つ、その歴史と内容にあります。すべては小さな前衛的アート・イベントから始まりました。他者をサポートするという自分のささやかな意志が達成した事の大きさに僕は畏怖の念を抱いています。このように小さな意志が無数の可能性を含んでいることをWorldspirit完成までの道のりから皆さんに示せば、と思います。

Worldspiritからは、宗教、文化、人種、年齢、そして性別を超え、私たちはみな同じ魂であることを理解してもらいたいと思います。Worldspiritは前衛的かつ総合的な芸術——時、音楽、ビジュアル・アートを通じて心、肉体、魂を進化させるオーディオ・ビジュアル体験です。これにより、癒し、学び、精神の向上といった変革体験を皆さんにご提供できれば、と思います。この進化は地球上の全人類が共有するものです。そして今この時期において、心と魂の進化がいまだかつてなかったほどに必要とされています。進化は、私たちが自我を中心とした存在から脱し、世界を中心としたより高次元な存在となつて、すべての文化や人間を敬うべきだと説いています。魂の観点から言えば、一つの宗教のみが真実であるとみなすのではなく、普遍的な魂の存在を理解する叡智を持ち、すべての宗教を敬うことが進化です。心、肉体、そして魂に語りかけることで人を変える力を持つ良質な芸術や音楽もまた、高次元のコミュニケーションと言えるでしょう。これが進化論者であり魂の研究者であるケン・ウィルバーの唱える「統合」なのです。この「統合」意識まで私たちが自身を引き上げることが、対立し混乱を深めていく世の中でありよりも必要です。私たちは全人類が共有する基盤、核が何であるかを見出し、芸術を通じてそれを祝福すべきなのです。



アリティは独断的でも有限でもありません。COSMは、愛と変化のための機会としてすべての瞬間を捉えるよう私たちが目指しています。ギャラリーの部屋と絵画はスパイラル状に構成されています。人々が自らの本質を見極め、建設的に世界に貢献してほしい、との願いを込めてそうしました。

D—Chapelのオープニングでパフォーマンスを行った感想を教えてください。

KENI WILLIAMS (以下K)：「この素晴らしいイベントでパフォーマンスを行えたことを大変光栄に思います。宇宙は振動と音により作られているという考えをあらゆる観客が受け入れてくださったような、そんな瞬間でした。アレックスのChapelに対するビジョンを促進させるため、僕はChapel of Sacred Mirrorsの誕生にトーンを合わせて音楽を演奏しました。その振動は壁、空間、そしてエーテルに今も存在しています。サヨコの素晴らしいダンス、溢れる愛、観客のエネルギー、そして作品のエネルギー、それらはすべて私の身体と楽器に流れていました。それは本当に魔法のような瞬間でした。音楽は音と調和の関係から成り立ちます。Chapelの絵画もまた同じような相互関係を築いていて、そこから

さらに大きな意味が積み出されません。幸運にもChapelを訪れる機会を得た人は、ドアを開けた瞬間からそれを感じる事ができるでしょう。それぞれの絵画が繋がること、物語を完結させているのです。そこから発信される高周波数の共鳴を感じる事ができるはず。A—この素晴らしいオープニングに出席し、COSMを祝福してくれてありがとうございました。ケンジ。

D—より伝統的な神の観点から、どのようにWorldspiritまたはあなたの作品を理解することができますか？

A—神は仏教の一部ですが、本当は魂の核における名もなき存在との直接の出会い、神秘体験、ある人はそれを宗教体験と呼びますが、とにかく言いつつ、その神と呼ばれるものを指します。その神と呼ばれるものには、高次元への目覚め、悟り、より大きな共同体、肉体を超えた不死身の感覚が含まれます。仏陀の本質は、時間を超えて具体化された、この表現不可能な神秘に対する名称です。ハクスレーはあらゆる観智に共通する核の存在を主張し、それをPerennial Philosophyと呼びました。

(1) 全ての存在は神のもとに帰属する。(2) 理性を超えて神と一体になることで、人間はその存在を実感することができ。(3) 人間性は二つの性質を所有する。自我に制約された自己と時間を超えた魂である。(4) この世における人生の目的は、魂の本質を理解し、神と自由に調和することである。私は最後に、こう付け加えます。(5) 神との調和を体験した後、人はその新たなビジョンにより得た洞察力と行いを他の人々と分かち合う責任が生じる。

Worldspiritはすべての魂が共有する神を意味する言葉です。全世界の調和、すべての人間に対する思いやりと共同意識、環境維持、これらはすべて根元的で普遍的な願望です。家族の意味を拡大し、そこに全存在を含むことが、我々がしようとしていることです。宗教は信者に良き人になり、お互いを愛しなさいと説きます。Worldspiritもまた同じ目的を持っているのです。

D—Worldspiritと宗教の違いを教えてください。

A—組織化された宗教は集会を開き、信仰と行いに対する規約を設けています。そうすることによって、宗教団体は自分達の信仰の優位性を強化しようとしているのです。Worldspiritは独断に陥ることなく、あらゆる文化伝統を認め、すべての観智と根元的な関係性を築くことを意味します。一つの宗教のみが正しく、他はすべて間違っている、と考えるのではなく、すべての宗教が真実を様々な形で理解しているとし、共通の基盤を見い出すことがWorldspiritなのです。破壊してしまう前に世界を一つにする可能性のメタファーとも言えるでしょう。

K—その通りです。そしてすべての信仰が共有する基盤が進化なのです。私たちがWorldspiritを作り出したのは、平和的共存には意識と魂の進化が必要不可欠であることを訴えるためです。誕生から死までの物理的進化、自己中心から世界中心への意識の進化、そしてすべてのスピリチュアルな伝統を敬い、取り入れる魂の進化があります。私たちはアーティストとしてリスクを負うことで、創作的進化を進めてきたつもりです。A—すべてのメディアを統合させ、より大きなインパクトを作り出す。これこそが統合芸術です。音楽、アート、ダンス、詩、パフォーマンス、彫刻、タトゥー、サーカスやアクロバットといったパフォーマンスまでWorldspiritの演目には含まれていました。

D—多くの人が観智から学びます。しかし、一つの伝統からかわいらしいシンボルを、他の伝統からはおもしろいような教訓を、という具合に非常に表面的であったりもします。どうすれば様々な教義に寄り添うことなく、深く学べるのでしょうか？

A—俗物的、あるいは自分を見失うほど熱狂的にならず、感覚を尖らせ目覚めた状態である必要があります。知覚も完璧ではありませんし、文化的風習が目を見張らせることもありま。私たちが自分たちが何を知らないのかさえ、知らないのです！芸術は、そうした通常の心の状態を一時中断させ、私たちの知覚を覆うブラインドをゆるめることができます。WORLDSPRITと口に出して言うだけでも、バルスは周辺に送られてゆきます。そしてより大きな調和への種が蒔かれるのです。

D—最後に日本のファンへメッセージをお願いします。

A—日本にいる私の兄弟、姉妹たち、私はあなた達の国、そしてそこに宿る精神を愛しています。私は奈良の大仏を訪ねる機会に恵まれ、そこで非常に深い体験をしました。腰を下ろして大仏を描いていたとき、多くの巡礼者に会うことができ、とてもうれしかったのを覚えています。私は彼らとたくさんのお話をしました。いつか、家族と共にもう一度行きたいと思っています。ニューヨークにお越しの際はぜひ、Chapel of Sacred Mirrorsにいらしてください！



(right) KENJI WILLIAMS (left) ALEX GREY

ALEX GREY Interview

Photos Kenji Williams & Magnetic Presence Concept Hiroshi Kuroyama & Sayoko Yazawa
Translation HIROMI KUBOYAMA Special thanks to Fumihito Hayashi

Dune (以下D)は長年にわたり手がけてきたプロジェクト「The Chapel of Sacred Mirrors」がマンハッタンでついにオープンしましたが、オープンまでのいきさつ、そして夢を達成した感想を聞かせてください。

ALEX GREY (以下A) : 「The Chapel of Sacred Mirrors」通称COSMOS。妻アリソンと私が20年ほど前から抱いていたビジョンの結果です。Sacred Mirrorsの直接のインスピレーションとなったのは、私たちが1978年に行った「Life Energy」というパフォーマンスでした。私が描いたシンブルな等身大の神経系図とエネルギー系図(ツボ、チャクラ、オーラ)を展示し、観客がその前に立つことで、自分自身の身体と対峙(mirror)できるようにしたのです。アリソンは人々がその絵に魅了されるのを目にし、私に統括的なシリーズを描くよう勧めたのです。後になって彼女がそのシリーズをSacred Mirrors(聖なる鏡)と名付けました。したがって、Sacred Mirrorsは私たちの愛、パートナーシップ、そして私たちがみな神の反映であるというビジョンから生まれたのです。

Sacred Mirrorsは19枚の絵と2つの鏡、合計21点のイメージより構成されています。それぞれが肉體、心と魂の構造を詳細に表しています。絵は観る人が自分自身と向き合っている

若い人たちは、ニルヴァーナ、ピーステイ、ポイズ、ツール、ストリング・チーズ・インシデント、あるいはケンジ・ウィリアムスのアルバム・ジャケットで私の作品に初めて触れた人が多いのではないのでしょうか。また、看護士、医師、オルタナティブ・ヒーラー、ヨガ・マスター、ボディ・ワーカーといった健康を追求する人々にも私の作品の熱狂的支持者がいます。Chapelを支持するコミュニティは大きくなる一方で、その成長ぶりには私たちが驚いています。

Dー満月の会はこの先もずっと続けるのですか？
Aーそのつもりです。満月の儀式はChapelの実現に触媒作用を及ぼしてきました。2003年の1月、素晴らしいシャーマン、アレックス・スタークが、芸術作品のための水久的なパブリック・スペースとしてのChapelの実現に向け、エネルギーを集中するための満月の祈りの会を始めたのです。2003年4月には、Spirit New Yorkのスペースを提供の申し出を受けました。Spirit New Yorkと合法的な関係を成立させ、むき出しのスペースを改造するには1年半かかりました。満月の儀式はこのプロジェクトに骨格を与えてくれたのです。毎月私たちがその月に成し遂げたことを評価し、翌月の

目標を定めました。満月の会では5ドルというわずかな金額の寄付を皆さんにお願いしましたが、この会は共同体としての私たちができることの本質を体現していると思います。Dー教会や寺院の存在意義または目的は何だと思えますか？
Aー私たちがここを「Chapel」 of Sacred Mirrorsと呼ぶ理由は、聖なるものと芸術のつながりを強調するためです。すべての文化における聖なる建物は靈魂に捧げられた家(ホーム)として存在します。そこは穏やかな美、最も崇高なる善を表わすステンド・グラス、モザイク、絵画や彫刻といった精巧で繊細な工芸品の集まる集会所、あるいは避難所なのです。Chapel of Sacred Mirrorsの目的は、私たち一人一人が内に持つ愛の力、変化の可能性を強調し、争いを超越して「worship」のもと一つになれる可能性があることを示唆することです。
Dーあなたの作品は非常にスピリチュアルです。Chapelを作ったことで作品の持つスピリチュアルな意味は変わりましたか？
AーChapel of Sacred Mirrorsは人間の魂を自覚めさせる子宮です。作品を一同に集めることで、それぞれの持つ意味を拡大、強化し、より世界的、統合的な視野を生成することが可能となります。COSMOSスピリチュ

商品としての芸術ではなく、超自然界への変換装置として存在する芸術(トランスフォーメティブ・アート)へと人々の意識を向かわせる、つまり芸術鑑賞の概念を変える実験的アートのスペースなのです。

Chapel of Sacred Mirrorsは人々がじっくり自分自身と向き合うための場所として作られました。21点のSacred Mirrorsと28点のその他の作品は、数年間展示されます。ヒーリング、愛、悟りと共に、誕生から死までの普遍的な人類の旅が物語として描かれた礼拝用の絵もあります。受容力のある魂にとって、トランスフォーメティブ・アートは魂への扉を開く役割を果たします。進化したコミュニティ

イーはこの場所を、幻想アート、聖なる幾何学、聖なる建築などのワークショップに用います。私たちが月ごとに宗派を超えた満月の会を開いています。私たちがインスパイアする音楽や詩を披露するのです。ここがオープンし、多くの方に来ていただいていることをとてもうれしく思います。

Dーここがオープンする以前、これだけ多くのあなたの作品を人々が鑑賞できる機会はありませんでしたか？
Aーこれだけ多くの作品が一時に展示されるのは初めてです。何ヶ月間もこの展示に向け、多くの優れたアーティストが手助けしてくれたおかげで、私たちは通常の短期間の展示では考えられないほど、トランスフォーメティブな環境を作り上げることができました。10体の天使の彫刻、壁と天井の装飾画、祭壇、アーチ状の扉、そしてハンド・ペイントの二重扉はすべて私と才能あふれる友人のアーティストたちの渾身の作業により完成しました。私たちはこのスペースが、芸術作品を愛する人々のための愛の充電場所になれば、と思います。

Dー今後Chapelはどのように進化していくのでしょうか？また、どのように使われるのでしょうか？
AーSpirit New YorkでのSacred Mirrorsコレクションの設置は、Chapelプロジェクトの幕開けです。今後4年間、世界の芸術の中心地であるニューヨークのチェルシーに展示されます。これは私たちが計画している水久的な建物のパンフレットの役割を果たします。この機会を、Sacred Mirrorsやその他のトランスフォーメティブ・アートを水久に展示できる場所を作るためのサポートを得るため、役立てるつもりです。Chapelはすでに、深いレベルで自分自身と向き合うための場所を提供する、スピリチュアル・センターとして機能し始めています。私たちの一番の望みは、人々の意識的変化の旅を芸術により手助けすることです。

この水久的なChapel of Sacred Mirrorsは、すべての観衆を認め、敬う21世紀の神聖なる教会として利用されるのです。

Chapelはクリエイティブティとスピリチュアリティがブレンドされたイベントが開かれています。私たち自身もほぼ2年間にわたり毎月満月の日に集会を開いてきました。そこで、ドラムやダンスに続き、多くの観衆について語ってきました。その時の朗読もここで行ったのがはじまりです。聖なる幾何学、聖なる建築学、そして自画像法といったワークショップも開かれています。タトゥー、サイケデリック・アート、それとはまた別のアート、そしてヒーリングをテーマとしたシンポジウムも開かれる予定です。LSDの父であるアルバート・ホフマンとテレネ・マッケンナの生誕を祝う計画も立てています。ハロウィーンに開かれた神と悪魔の仮装パーティーでは「神の仮面」についての講義も行われました。MAPS (Multicultural Association for Psychiatric Studies) のための慈善パーティーでは協会をサポートするための資金を集めることができました。聖なる踊り、音楽、様々な伝統や流儀ののどかなスピリチュアリティはすべてここでプログラムの一環となります。

この水久的なChapel of Sacred Mirrorsは、すべての観衆を認め、敬う21世紀の神聖なる教会として利用されるのです。

目標を定めました。満月の会では5ドルというわずかな金額の寄付を皆さんにお願いしましたが、この会は共同体としての私たちができることの本質を体現していると思います。Dー教会や寺院の存在意義または目的は何だと思えますか？
Aー私たちがここを「Chapel」 of Sacred Mirrorsと呼ぶ理由は、聖なるものと芸術のつながりを強調するためです。すべての文化における聖なる建物は靈魂に捧げられた家(ホーム)として存在します。そこは穏やかな美、最も崇高なる善を表わすステンド・グラス、モザイク、絵画や彫刻といった精巧で繊細な工芸品の集まる集会所、あるいは避難所なのです。Chapel of Sacred Mirrorsの目的は、私たち一人一人が内に持つ愛の力、変化の可能性を強調し、争いを超越して「worship」のもと一つになれる可能性があることを示唆することです。
Dーあなたの作品は非常にスピリチュアルです。Chapelを作ったことで作品の持つスピリチュアルな意味は変わりましたか？
AーChapel of Sacred Mirrorsは人間の魂を自覚めさせる子宮です。作品を一同に集めることで、それぞれの持つ意味を拡大、強化し、より世界的、統合的な視野を生成することが可能となります。COSMOSスピリチュ